

BP
business partner

日本HPの製品情報をお届けするセールスノウハウマガジン

Navigator

HP LIMITED EDITION



2025 Spring

特集

次世代のパフォーマンスと生産性!

インテル® Core™ Ultra プロセッサ搭載
『HP EliteBook X G1i 14 AI PC』が登場

Presented by **Otsuka Corporation**

次世代のパフォーマンスと生産性!

インテル® Core™ Ultra プロセッサー搭載

『HP EliteBook X G1i 14 AI PC』が登場



株式会社 日本HP
パーソナルシステムズ事業本部
クライアントビジネス本部 CMIT製品部長 岡 宣明氏

「AI PC」に続き「Copilot+ PC」の要件を満たすPCのリリースが相次いだ2025年春。インテルが発表したNPU搭載の「インテル® Core™ Ultra プロセッサー (シリーズ2)」の登場に合わせ、各ベンダーも総力を挙げてこのジャンルを盛り上げている。市場の反応も良い中スタートを切った新ジャンルのPC。どのような魅力があるのか、ここであらためてまとめてみたいと思う。

第1章 PC市場とAI活用トレンド

編集部:最初にお聞きしたいのですが、Windows 10のEOS(サポート終了)が迫る中で、現在のPC市場ではやはり買い替え需要は高まっているのでしょうか。

HP岡氏:実感としては、エンタープライズのお客さまに関しては、ほぼ移行は終了しているというイメージです。現在はSMB(Small and Medium-sized Business)のお客さまの移行が活発化しているという状況かと思っています。

インテル植野氏:私どものほうの印象も同じですね。前回のWindows 7からWindows 10への移行の際には、消費税の増税のタイミングであったこともあり、本当に最後の最後で急速にリプレイスが進んだということもありました。しかし、今

回はその時の教訓が十分に生かされているように感じ、早め早めの動きをされたところが多かったと思います。

編集部:そのような状況のなかで、入れ替えPCの対象として「AI PC」や「Copilot+ PC」といったキーワードも広く一般に知られてきているかと思っています。AI技術はビジネスPCの利用シーンでどのような役割を果たしていくとお考えでしょうか。

HP岡氏:日本では労働人口が減っていくことが予想される中で、特に生産性の向上についてAI技術が使えるのではないかとお考えのお客さまが多いと感じています。単純にAIに定型的な計算をさせるというよりは、個人をサポートしてくれるものとして、AI技術に期待されているように思います。まさにユーザーに寄り添う「Copilot」としての位置づけなのかもしれません。

第2章 インテル® Core™ Ultra

プロセッサー (シリーズ2)とは?

編集部:AI技術が浸透しつつある中で、「インテル® Core™ Ultra プロセッサー」も2025年からは「シリーズ2」ということで、さらなる飛躍を期待されるところかと思っています。この新しいプロセッサーがどのようなポジショニングで、どのような用途に向けて性能を発揮するものなのか、全体像を教えてくださいませんか。

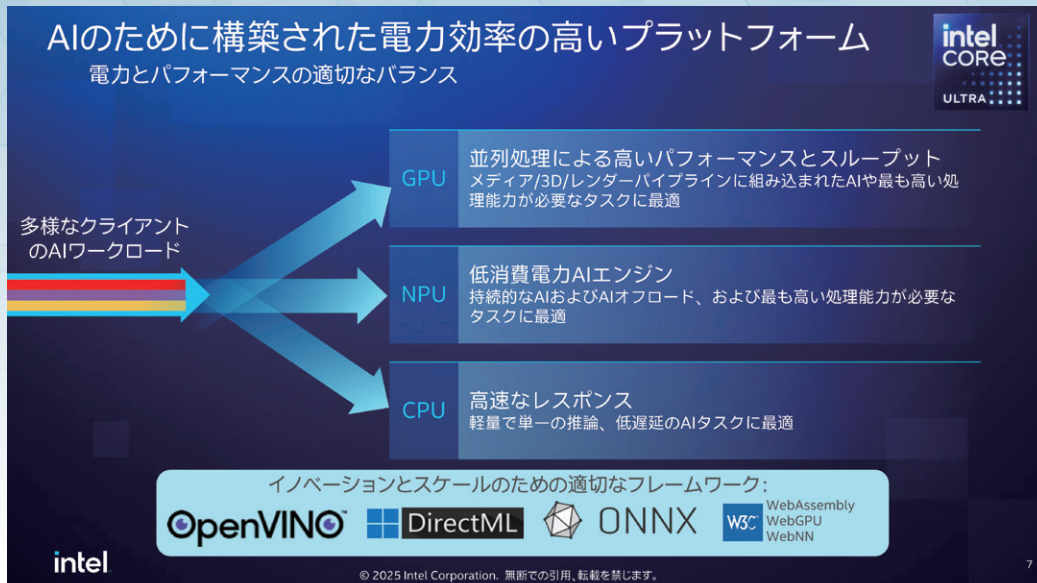
インテル植野氏:インテル® Core™ Ultra プロセッサーについては、2023年12月に発表された「Meteor Lake」がいわゆる「シリーズ1」と呼ばれるものとなります。そして2024年9月にコンシューマー向け、2025年1月に法人向けに発売が開始された「Lunar Lake」が「シリーズ2」となるというわけです。

あらためてこのプロセッサーの最大の特長についてご説明すると、従来モデルに比べてAI向けの演算処理に特化した「NPU」を大幅に強化したところになります。シリーズ2となるLunar LakeではNPUの処理能力で48 TOPS(1秒間あたり48兆回の演算)という値を達成しています。マイクロソフト社が定める「Copilot+ PC」の要件が40 TOPSなので、それを優に超える性能ということになります。それに加えてLunar Lakeでは、GPUが67 TOPS、CPUが5 TOPSという処理能力を持っているので合計で120 TOPSにもなる性能を誇っています。

インテルではNPUだけではなくGPUの強化も重要な要素であると考えており、CPU・NPU・GPUの3つをきちんと使いこなすことによって、総合的な性能のアップを図っています。その結果、より効率的なAIワークロード処理を実現しており、高速なレスポンスや長時間バッテリーを実現しているのも特長です。



インテル株式会社
アカウント・パートナー事業本部 コマーシャルチャネル
営業統括部統括部長 植野 利隆氏



AI PCならではの「HP AI Companion」についてご紹介いたします。これはAIを身近に感じていただきたいという思いで追加された機能で、業務に必要な調べものをユーザーの代わりに実行するほか、ドキュメントやPDFを分析することもできます。また、情報システム部門に代わってPCのトラブルシューティングができるなど、管理者の負担軽減も実

AI処理のワークロードでは、ソフトウェア側からの要求に従って、NPUをフル回転で使って処理しているというイメージもあるかもしれませんが、一方でGPUを使った方が効率的に処理できることもあります。これらはソフトウェアベンダー様の方で各々のアプリケーションが要求する処理に応じて、最適な動作エンジンを提供できる我々のハードウェアとソフトウェアの両輪によって実現しております。

インテルはソフトウェアベンダー様との密接な開発・最適化作業を長年行っており、アプリケーション開発者がどのような考え方を持っているかということについても、かなりのノウハウと情報を蓄積しております。ローカルでのAI処理についてもこのような調査をすることで、プロセッサの開発にも役立っているのです。インテルの予想では、今後はNPUを使用する比率も高まってくると考えています。

第3章 HP EliteBook X G1i 14 AI PC の特徴とメリット

編集部: 今ご説明いただいたインテル® Core™ Ultra プロセッサ (シリーズ2) を組み込んだマシンとして、HPから「HP EliteBook X G1i 14 AI PC」が登場しました。

このモデルの特長と、それを使うことによりどのようなメリットがユーザーにもたらされるのか、そのあたりについてお聞かせください。

HP岡氏: 人気モデルだった「HP Dragonfly G4」シリーズの後継モデルとしても位置づけられるのが、「HP EliteBook X G1i 14 AI PC」です。デザインの特長としては、モバイルに最適な薄型軽量ボディで、カラーは日本で非常に人気のある「アトモスフィアブルー」を採用しています。実はグローバル展開モデルではシルバーなのですが、日本市場でのユーザーの好みを考慮したものになっています。

スペック面では先ほどから話題となっているインテル® Core™ Ultra プロセッサ (シリーズ2) の中でも、インテル® Core™ Ultra 5 プロセッサおよびインテル® Core™ Ultra 7 プロセッサが選択可能です。これによって、AI処理において大きく有利になるだけでなく、長時間バッテリーも実現しています。

コラボレーション系機能としては「Poly Camera Pro」が搭載されています。内蔵カメラと外付けカメラのすべてのビデオおよびオーディオなどの機能を一元管理することが可能です。また、AI機能も豊富に搭載していますが、HPの次世代

現できます。まだまだ新しい機能が加わっていくツールなのでぜひ便利に使ってください。

編集部: こちらのモデルはオプションでHPのサービスが利用できるそうですね。

HP岡氏: データ通信が5年間使い放題となる「HP eSIM Connect」と、電源オフのときも「探す」、「PCをロック」する、「データを消去」するといった管理項目をリモート環境から命令できる「HP Protect and Trace with Wolf Connect」が搭載可能です。

今後、AIを活用するシーンは社内だけでなく、外出先にも広がることが予想されます。ハイブリッドワーク環境で、どこでも安心してネットワークに入れるのは大きなアドバンテージとなります。また、そのようなシーンでのエンドポイントセキュリティとして、「SLMが入った端末をなくしたらどうする?」というリスクを回避するためにもHPの次世代MDMが効果的です。

第4章 ご提案時の訴求ポイント

編集部: インテル® Core™ Ultra プロセッサ (シリーズ2) およびHP EliteBook X G1i 14 AI PCについてご説明いただきありがとうございます。大分理解が深

AIの実行には インテルが最適

最大規模の
TAM
AI PC 市場に
おいて

FP16 と INT8
に対応
競合製品は
FP16 の実行不可

最高クラスの
ソフトウェア
最適化

業界をリードする
AI PC 開発者
プログラム

CPU、GPU、NPU による
AI 拡張

モデルと
アプリケーション
豊富な
選択肢

120
プラットフォーム TOPS

99%
AI アプリケーションの
互換性

400 を超える
機能が AI PC ISV により
最適化

インテル® Core™ Ultra プロセッサの幅広い互換性、豊富なソフトウェアオプション、独自アーキテクチャー、目を見張るパフォーマンスを組み合わせ、競合プロセッサ製品との比較も含め、総合的な最高レベルの AI 体験を提供するクライアント・アプリケーションを指す (2024年12月時点)。AI 機能を使用するには、別途ソフトウェアの購入または互換性に関して特有の要件が必要となる場合があります。詳細については、<https://www.intel.com/performanceindex/> (英語) を参照してください。結果は異なる場合があります。

intel

16

まりましたが、あらためてAI PCあるいはCopilot+ PCの注目ポイントを教えてくださいませんか？

インテル植野氏: いまのところAI PCやCopilot+ PCという「AIを使う人のためのPC」と受け止める見方もあるでしょう。ですが、正確には「最新の優れたパフォーマンスを持つPCなのでAIも快適に使えます」というメッセージになると思います。

AIをPC側で処理するソフトウェアの数は今や数百レベルに達しており、今後はさらに伸びていくことも予測されています。インテルはISVエコシステムを持つメーカーとしても知られていますが、現在でも400以上のソフトウェアベンダーのAI機能が、AI PCやCopilot+ PCに最適化されているというのもみなさんにぜひ知っていただきたいポイントです。

HP岡氏: HP EliteBook X G1i 14 AI PCは、バランスに優れた製品なので、特に日本のユーザーのニーズにマッチするものだと考えています。先ほども申し上げましたが、特に「HP eSIM Connect」と

「HP Protect and Trace with Wolf Connect」はHPが得意とする分野であり、他のベンダー様が提供していない付加価値でもあります。

またセキュリティという点では、このモデルにも「HP Wolf Security」が搭載されています。この機能では、Intel vPro™ プラットフォームとマイクロソフトのセキュリティ機能と連携しながら、BIOSなどのハードウェアレベルまで保護する強力なものになっています。ここも「HP EliteBook X G1i 14 AI PC」の差別化ポイントになるのではないかと思います。

第5章 まとめ

編集部: 今後のAI市場の展望をお聞かせください。

インテル植野氏: やはり、AIに関しては分散処理が進んでいくと考えます。現状はクラウドサービスが多いですが、パーソナルデータを活かすにはローカルでのAI処理も必要性を増していくでしょう。つまり、手元にあるPC上でAI処理をする必要が出てきます。これから益々AI PCの重要性や必

要性が増してくると思っています。

HP岡氏: 現状ではNPU非搭載のプロセッサ採用モデルが多いですし、「まだまだAIは使わない」というお客様もたくさんいらっしゃいます。しかし、インテル® Core™ Ultra プロセッサ (シリーズ2) の広がりを見ても分かる通り、予想よりも早い段階で市場はNPU搭載のAI PC、Copilot+ PCへとシフトするはずで、アプリケーションのNPU活用が加速すると考えています。いま、買い替えをお考えの方は、なるべくハイスペックのAI PCまたはCopilot+ PCをお選びください。それが生産性向上に大きく貢献することになると思います。

AI PCおよびCopilot+ PCは、AI活用はもちろん、PCとしての実力も非常に高いのが最大の魅力だ。各社のベンチマークが表すとおり導入効果の高いPCであることは間違いなさだろう。今後、PCの入れ替え検討時にはぜひ候補に加えていただきたい。

一本日はありがとうございました。

次世代の AI 体験を実現するために設計された高効率プロセッサー インテル® Core™ Ultra プロセッサー (シリーズ2)



ビジネスシーンを支える インテル® Core™ Ultra プロセッサー

インテル® Core™ Ultra プロセッサーシリーズはCPU、NPU、GPUを単一のパッケージに統合。コラボレーション、生産性、および創造性を強化し、パフォーマンスと電力効率の最適なバランスを提供します。

次世代の AI 体験を実現するために設計された高効率プロセッサー インテル® Core™ Ultra プロセッサー (シリーズ2)

次世代AI体験を実現するために構築された高効率プロセッサーです。
最新世代のP-coreおよび低消費電力E-coreのアーキテクチャー、強化されたNPU AIエンジン、新しいXe2アーキテクチャーにより駆動するインテル® Arc™ グラフィックスを内蔵。



最大120 TOPSのAI処理性能

Copilot+ PCの要件に準拠したNPUを搭載。
AI演算処理能力は最大120 TOPSを提供します。
(GPU:最大67 TOPS、NPU:最大48 TOPS、CPU:最大5 TOPS)



Copilot+ PC

革新的な電力効率

インテル® スレッド・ディレクターにより、消費電力を最適化されます。
低電力のEコアからタスクを処理し、必要に応じてPコアを使用するよう自動で処理するコアを動的に判断します。

インテル® スレッド・ディレクター

高性能な P コアと高効率な E コアに割り当てるタスクを自動判別する機能。パフォーマンスと省電力性能の向上を実現します。

各 CPU での処理状況をナノ秒単位の素早さでチェック

どの CPU を使えば最適で最大の能力が出せるか OS に情報を流す

アプリケーションの動作状況に応じて使用する CPU を素早く切り替え負荷を減らす

次世代規格Wi-Fi 7に対応

Wi-Fi 7の機能は高速化のみならず、応答性と信頼性も劇的に向上し、臨場感あるユーザー体験を提供します。
大容量データのダウンロードやオンライン会議などビジネスに欠かせないワイヤレスネットワークも進化しました。



インテル® Core™ Ultra プロセッサー (シリーズ2) 搭載 Copilot+ PC ラインナップ

HP EliteBook X G1i 14 AI PC

Microsoft Copilot+ PC の
基準を満たすHPの次世代 AI PC



HP EliteBook X G1i 14 AI PC の特長



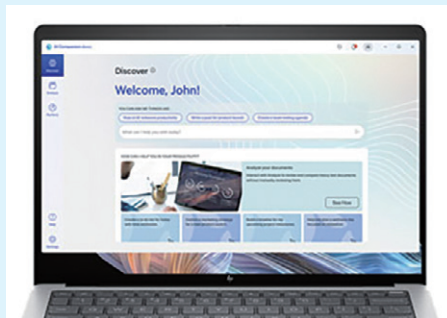
あなたに適応するPCで 最高のパフォーマンスを発揮

HP Smart Resource Optimizerを通じてAIを使用し、パフォーマンスを最適化。機体が高温になるのを防ぎ、静かに動作しながら、終日バッテリーの無駄な消費を抑えます。

のぞき見検知機能付き 内蔵プライバシースクリーン

背後にのぞき見る人が検出されると、PCが通知を行い、内蔵プライバシースクリーンが自動的に起動してのぞき見を防止します。画面はユーザーにとって読みやすい状態を保つほか、のぞき見る人が離れると自動でオフになります。

※一部モデルのみ

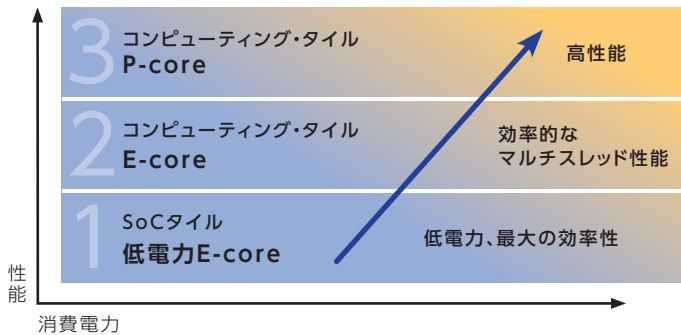


指先で操るAI

HP AI Companionは、パーソナライズされたアシスタントとして、AIを活用しながら学習して成長していきます。HP AI Companionには、効率と生産性が向上するAIを駆使したさまざまなツールや機能が搭載されています。AIを活用して、日常の作業のレベルを高めます。※

※HP AI Companion は、一部のHP次世代AI PCにプリロードされているか、Microsoftストアからダウンロードできます。40~60 TOPSをサポートするNPUを搭載したHP次世代AI PCとWindows 11が必要です。Performを使用するには、PCの起動後30日以内にアカウントを設定するか、HP AI Companionアプリから登録する必要があります。一部の機能では、お客様によるローカル データのアップロードが必要です。Analyzeのライブラリは最大5つ作成できます。それぞれ100MBの制限があり、サポートされるファイルは異なる場合があります。起動時にはpdf、.txt、.docxファイルが含まれます。

インテル® Core™ Ultra プロセッサー (シリーズ1)



消費電力を抑える

3D パフォーマンス・ハイブリッド・アーキテクチャー採用

「3Dパフォーマンス・ハイブリッド・アーキテクチャー」では、演算負荷の小さいタスクは低電力E-Coreを搭載するSoCタイルが優先的に起動し、低い消費電力でタスクを処理。

更なる電力効率の良いタスク処理が可能となった。

インテル® Core™ Ultra プロセッサー (シリーズ 1) 搭載 AI PC ラインナップ

HP EliteBook 630/640 G11

AI による強化 ×
幅広い業務スタイルに適応



HP EliteBook 630/640 G11 の特長



ワンタッチで
AIアシスタント起動

シンプルな操作でCopilot in Windowsを体験可能。Windows 11最新機能のCopilot in Windowsは、AIを搭載したインテリジェントなアシスタンスです。

あると便利なHDMI出力端子や
有線LANポート搭載

薄型ながら、外部モニターやプロジェクターと接続できるHDMI出力端子、有線LANポートなどビジネスに必要なインターフェースを標準で搭載しています。



確かな
品質と堅牢性

机からの落下、満員電車の圧力、温度の高低差やホコリ・高湿度の中など、PCを利用するさまざまな環境を想定した厳格なテストをクリアしています。

HP ProBook 460 G11

先進のセキュリティを備えた
16 インチ・大画面スタンダードノート PC



HP ProBook 460 G11の特長

Poly Studioによる
オーディオ チューニング

Poly Studioによるオーディオ・チューニングを施したマイクをトップエッジに搭載。Web会議などで音声の録音が必要となる際は、最適な周波数範囲を設定します。Polyは、数十年にわたるオーディオ・チューニングの経験を生かし、高品質のクリアな音声と卓越したサウンドを提供しています。



光の映り込みがなく
表示範囲が広い

映り込みが少ない非光沢ディスプレイを採用。画面占有率高く、広い表示範囲を実現するスリムベゼル。目の前のコンテンツに集中できることで生産性と効率性を高めます。



安心の長時間&
高耐久性バッテリー

約13時間*の「長時間駆動バッテリー」を搭載。電源が確保できない場所で作業をすることが多い場合でも、安心して作業に集中できます。また、約1000回の充電サイクルを設計寿命とする「高耐久性」バッテリーを採用。

*MobileMark® 25測定値。バッテリー駆動時間は動作環境・システム設定により変動。

HP eSIM Connect

法人様限定! 5年間データ通信上限なしで使い放題
au回線を利用した法人向けMVNOサービス

HP eSIM Connect 対応モデルは、HP の法人向けノートPC (4G LTE、5G モデル) に
データ通信上限なしのeSIM サービスを組み合わせることで、いつでもどこでも働く環境を提供。

HP eSIM Connectなら!

- 5年間データ通信使い放題でコスト削減!
- eSIMなので、紛失リスク無しで管理も不要!
- eSIMなので、回線開通手続きや設定が簡単!
- 高品質でカバーエリアが広いau回線!
- 常時接続だからWeb会議や端末管理がスムーズ!
- MVNOサービスだから、
PCと通信のサポートがワンストップ!

(例)1台あたりの総費用イメージ

HP Elite x360 830 G11 4G LTE・HP eSIM Connect 対応モデル
5年間の参考価格

PC+通常のデータ通信契約の場合

PC購入代金
+
通信費(5年間)*

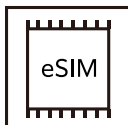
合計金額 約66万円

HP eSIM Connect
対応モデルの場合

PC購入代金
(通信費(5年間)*込み)

合計金額 約24万円~

*国内通信キャリアの平均的なデータ通信をもとに算出 2024年7月現在、日本HP調べ



eSIM対応機器

PC本体にWWANモジュールが
組み込まれているモデル



安定した回線

HPがMVNO業者となりサービス
を提供します (auネットワーク)

一部HP法人ノートPCの
LTE / 5G通信モジュール
搭載モデル



5年間のデータ量無制限
auネットワーク通信サービス
利用権 (法人限定)



HP eSIM Connect

HP EliteBook X G11 14 AI PC
LTE/5G 搭載モデル



HP EliteBook 1040 G11
LTE/5G 搭載モデル



HP Elite x360 830 G11
LTE 搭載モデル



※その他の対応モデルはお問い合わせください。

HP eSIM Connectの詳細はこちら
https://hp-bpplatinum.com/hp_promotion_2501/

